



2024年度

岡山商科大学孔子学院 中国語スピーチコンテスト

第4回 全日本中国語スピーチコンテスト 岡山県大会

中国語学習の質向上を目指し、
日中両国民の相互理解と友情を深めていきましょう。

参加費
無料

日時 **2024年10月5日(土)** 13:00~ (受付12:00~)

会場 **岡山商科大学孔子学院**(岡山市北区津島京町2-10-1)

資格 **中国国籍以外で、かつ中国語を母国語としない方**

部門 **スピーチ部門**(一般部門、大学生部門、高校生部門)

◆自由テーマ(5分以内)

朗読部門(一般の部、大学生・大学院生の部、中学生・高校生の部)

◆課題文(岡山商科大学孔子学院ホームページ参照)

表彰 各部門優秀者を表彰します。(岡山商科大学孔子学院中国語スピーチコンテストの表彰は、岡山県内在住者が対象)
優秀者の中から、公益社団法人日本中国友好協会の参加資格等を考慮の上、全国大会へ推薦します。

申込期間 / 2024年9月20日(金)まで

応募方法

裏面をご覧ください。

・申込用紙に、氏名・連絡先等必要事項を記入の上、郵送又はFAX、E-mailにて孔子学院宛てに送付してください。

●申込先

住所 〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1

(郵送、FAX、メール可)

FAX 086-255-6947

E-mail koushigakuin@po.osu.ac.jp

- ◆主催 / 岡山商科大学孔子学院、岡山県日本中国友好協会
 - ◆共催 / 岡山商科大学、大連外国語大学
 - ◆後援 / 中国駐大阪総領事館、岡山県、倉敷市日中友好協会、玉野市日中友好協会、笠岡市日中友好協会、新見市日中友好協会、岡山県華僑華人総会、岡山県国際交流協会
- ※一部予定を含む。

孔子学院の
HPはコチラ!



お問い合わせ

●岡山商科大学孔子学院 TEL.086-256-6670 ホームページ: <https://okayama-koushi.com/>

●岡山県日本中国友好協会 TEL.086-201-8844 E-mail: jcfa-okayama@crest.ocn.ne.jp

岡山市北区奉還町2-2-1 岡山国際交流センター6階(NPO) 岡山県国際団体協議会内

2024 年度岡山商科大学孔子学院中国語スピーチコンテスト兼

第 4 回 全日本中国語スピーチコンテスト岡山県大会

開催要項

1. 目的

本県における中国語学習の普及と質の向上を目指し、日中両国民の相互理解と友情を深めることに寄与することを目的とする。

2. 開催時期・会場

日時 2024 年 10 月 5 日（土） 13：00～（受付 12：00～）

会場 岡山商科大学孔子学院（岡山市北区津島京町 2-10-1）

3. 主催・後援等

主催 岡山商科大学孔子学院
岡山県日本中国友好協会

共催 岡山商科大学
大連外国語大学

後援（予定）

中国駐大阪総領事館

岡山県、倉敷市日中友好協会、玉野市日中友好協会、笠岡市日中友好協会、
新見市日中友好協会、岡山県華僑華人総会、岡山県国際交流協会

4. 部門

スピーチ部門（一般部門、大学生部門、高校生部門、）

自由テーマ（5 分以内）

朗読部門（一般の部、大学生・大学院生の部、中学生・高校生の部）

課題文（岡山商科大学孔子学院ホームページ参照）

5. 参加費 無 料

6. 参加資格 中国国籍以外で、かつ中国語を母国語としない者

7. 表彰

各部門優秀者を表彰する。

ただし、岡山商科大学孔子学院中国語スピーチコンテストについては、県内在住者のみから表彰を行う。

全日本中国語スピーチコンテスト岡山県大会については、優秀者の中から、公益社団法人日本中国友好協会の参加資格等（別添）を考慮の上、全国大会へ推薦する。（各県ごとに推薦枠があるため、県ごとに推薦する。）

8. 応募方法

- ・申し込み用紙に、氏名・連絡先等必要事項を記入の上、郵送又はFAXにて孔子学院あて送付する。
- ・孔子学院ホームページより申請可能です。

申込先 住所 〒700-8601 岡山市北区津島京町 2-10-1
FAX 086-255-6947
E-mail koushigakuin@po.osu.ac.jp

申込締切日 2024年9月20日（金）

9. お問い合わせ

岡山商科大学孔子学院

TEL 086-256-6670

<https://www.okayama-koushi.com/>

岡山県日本中国友好協会

〒700-0026 岡山市北区奉還町 2-2-1 岡山国際交流センター6階
（NPO）岡山県国際団体協議会内

TEL 086-201-8844

E-mail: jcfa-okayama@crest.ocn.ne.jp

朗読課題文

【念信】

有个父亲收到了在外地读书的儿子的来信。他不认识字,只好去请一个邻居念信。这个邻居粗声粗气地念到:“亲爱的爸爸,给我寄钱来……”这个父亲一听,气得跳了起来,说:“这小子,好久不来信了,一来信就没有好事,要钱也不能是这么个要法。”说完,不等邻居读完信,拿过信来就走了。过了几天,另一个邻居来他家串门,看见了桌子上的信,就读了起来。他慢声细语、充满感情地念到:“亲爱的爸爸,给我寄钱来……”这个父亲听了,微笑着说:“这才像我儿子,对我有感情。”他静静地听着,直到邻居把信读完。随后,他就把钱给儿子寄了过去。

スピーチ部門

1. 全国大会の出場について

3部門からなり、出場者数は「大学生部門」10名程度、「高校生部門」6名程度、「一般部門」6名程度とする。

※上記出場者数以上のエントリーがあった場合には、あらかじめ委嘱している審査員による1次審査(都道府県大会時の音源審査)を行い、全国大会への上場者を決定する。

※専門学校生、高専4年生以上は大学生部門とする。

2. 参加資格

全国大会へは以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

■3部門共通条項 ——

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 中国語を母語(*注1)とする者
- ③ 両親のいずれかが中国語を母語とする者
- ④ 中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者。
- ⑤ 中国語を日常語とする地域に通算13ヶ月以上留学(*注2)または滞在したことのある者
- ⑥ 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者
- ⑦ 過去、全国大会において優勝した者

*注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語 (最初に自然に身につけた言語)

*注2 オンライン留学は含まず

■「大学生部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 日本の大学(*注3)、大学院、専門学校(*注4)、高専4年生以上に在学していない者
- ② 出場時の年齢が30歳以上の者(「一般部門」から出場すること)

*注3 短大、文科省指定の外国大学日本校を含む

*注4 専門学校とは、「専門士」の資格を与えられる学校を指す

■「高校生部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 日本の高校に在学していない者

■「一般部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 2009年4月2日以降に生まれた者(すなわち中学生以下)
- ② 大学、大学院、専門学校(専門学校については大学生部門条項*注4を参照)に在学している者(ただし、出場時の年齢が30歳以上の場合はこれに限らない)

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

3. 都道府県大会から全国大会へのエントリー方法

- ・都道府県大会の優秀者の中から「大学生部門」「高校生部門」「一般部門」各1名を全国大会出場者として推薦する。ブロック内で行う場合は、各県がそれぞれ推薦枠を有しても可。
- ・3部門のいずれかのみへの推薦も可とする。
- ・一つの部門へ複数名の推薦は不可とする。
- ・都道府県大会終了後、速やかに以下の①②を全国大会事務局に提出する。(下記①②提出後の手続きは、全国大会事務局が被推薦者に直接案内する。①フォームは、全国大会事務局より各都道府県大会事務局へ後日メール添付にて送付する)
 - ① エントリー用紙(都道府県大会事務局用)
 - ② 都道府県大会時のスピーチを録音した音源(本人分を抽出しデータにて提出すること)

- ※ エントリーの際に提出するスピーチの音源は、必ず都道府県大会時に録音したものを送ること。後から収録したものは審査の対象外とする。また、原稿の変更も不可とする。
- ※ 音源は本人分のみをデータにてメール添付で提出のこと。
- ※ 発表原稿は過去未発表のものとする。
- ※ 原稿は内容集他に掲載し、著作権は主催者に帰属する。

4. テーマおよび審査

*テーマ:「大学生部門」「高校生部門」「一般部門」ともに自由テーマ(5分以内)

— 参考(前回の受賞者のテーマ) —

第41回 「大学生部門」／「心の橋をかける震災紙芝居」「伝える優しさ」と「伝えない優しさ」「違う形での恩返し」

「高校生部門」／「競技から友情へ:私の学びの旅」「民間交流の重要性」「私の思い描く言語の世界」

「一般部門」／「中国の方言の魅力:表情豊かな中国文化」「結婚と国際交流」

「娘は母親にとって心をぽかぽかと温めてくれる「どてら」のようなものだ」

*審査

1次審査・・・「大学生部門」へ10名以上、「高校生部門」へ6名以上、「一般部門」へ6名以上のエントリーがあった場合には、あらかじめ委嘱している全国大会審査員による音源審査を行い、全国大会への出場者を決定し、12月上旬までに本人と都道府県大会事務局に通知する。

全国大会の審査(全部門共通)

- ・各人のスピーチ(原則として原稿は見ないこと)と審査員による質疑応答(1分前後)を行う
- ・審査基準: ① 正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか
 - ※ただし歌などのパフォーマンスは不可
- ② テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か
- ③ 内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか

5. 表 彰

- ・スピーチ終了後、審査員が判定会議を開き入賞者を決定する。
 - 大学生部門 … 第1位 ～ 6位
 - 高校生部門 … 第1位 ～ 3位
 - 一般部門 … 第1位 ～ 3位
- ・1位～3位には後援・協力団体賞等を授与する。また、全出場者の中から「日中友好協会会長賞」を選ぶ。
 - ※ 予定後援・協力団体賞等は以下のとおり
 - 「外務大臣賞」、「中日友好協会賞」、「文部科学大臣賞」、「中国教育部賞」
 - 「中国大使賞」、「読売新聞社賞」、「NHK会長賞」、「人民中国賞」
 - 「共同通信社賞」、「日中友好会館賞」、「国際文化フォーラム賞」

6. その他

全国大会の実行予算は別に定める。

7. 都道府県大会開催の登録

開催する各都道府県大会事務局は、所定の「開催登録フォーマット」に必要事項を入力し、5月24日(金)必着で全国大会事務局までメール添付にて送付、登録するものとする。

朗 読 部 門

1. 目 的

中国語学習を始めて一定期間以内の者を対象とし、更なる中国語の普及と質の向上を目的とする。

2. 全国大会の出場（推薦）・入賞について

都道府県大会から全国大会への推薦は1名とする。

全国大会の入賞者数は3名（最優秀1名、優秀2名）とする。

3. 参加資格

全国大会へは以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

- ①日本国籍を有しない者
- ②中国語を母語(*注5)とする者
- ③両親のいずれかが中国語を母語とする者
- ④中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者
- ⑤中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在(含・留学)(*注6)した経験のある者
- ⑥業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者
- ⑦高校、大学、専門学校において中国語を専攻している者(過去に専攻していた者も含む)の内で都道府県大会出場時に学習期間2年を超えている者。
- ⑧専攻以外の者(第二外国語、中国語教室等で学習、独学)の内で都道府県大会出場時に学習期間4年を超えている者。ただし、**60歳以上で初めて中国語学習を始めた者は学習期間を問わない。**

*注5 母語とはその者の生活環境において使用されている言語（最初に自然に身につけた言語）

*注6 オンライン留学は含まず

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

4. 都道府県大会から全国大会へのエントリー方法

- ・都道府県大会の成績優秀者 1名を全国大会での朗読発表者として推薦する。
- ・都道府県大会終了後、速やかに以下の①②を全国大会事務局に提出する。(下記①②提出後の手続きは、全国大会事務局が被推薦者に直接案内する。①フォームは、全国大会事務局より各都道府県大会事務局へ後日メール添付にて送付する)
 - ① エントリー用紙(都道府県大会事務局用)
 - ② 都道府県大会時の朗読を録音した音源(本人分を抽出し、データにて提出すること)

※ エントリーの際に提出する朗読の音源は、必ず都道府県大会時に録音したものを送ること。後から収録したものは審査の対象外とする。
※ 音源は本人分のみを「データ」にてメール添付で提出のこと。

5. 課題文および審査

- * 課題文:5月中に各都道府県大会事務局へ送付する。
- * 審 査
提出された音源による審査を行う。入賞者3名を選抜し、内、最優秀者1名、優秀者2名を決定する。審査結果については、12月上旬までに本人と各都道府県大会事務局に通知する。
 - ・ 審査基準：発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。

6. 朗読発表および表彰

- * 全国大会での朗読発表者は最優秀者1名となり、表彰式で最優秀賞及び後援団体賞を授与する。朗読発表は、スピーチコンテストの休憩時間(スピーチ部門の判定会議の時間)を使って行い、表彰はスピーチ部門と同時間に行う。
- * 朗読中、課題文を見ることは構わない。
- * 優秀者2名には優秀賞の賞状を別途郵送する。

7. 都道府県大会開催の登録

開催する各都道府県大会事務局は、所定の「開催登録フォーマット」に必要事項を入力し、5月24日(金)必着で全国大会事務局までメール添付にて送付、登録するものとする。

公益社団法人日本中国友好協会

〒111-0043 東京都台東区駒形1-5-6 金井ビル

Tel : 03-5811-1521 Fax : 03-5811-1532

e-mail: speech@j-cfa.com